

平成3年度事業計画

日時	事業名
6月 29日	視察研修会 (内灘町)
7月 15日	文化協会だより発行
7月22~28日	町美術展後援
8月1~2日	野々市じょんからまつり協賛
11月 3日	文化協会表彰式
10月 下旬~ 11月 月上旬	町民文化祭
12月 月上旬	懇親パーティ
1月 5日	新春書きぞめ大会後援
3月21~22日	椿まつり '92

野々市町文化協会が発足して五年がたちました。その間、野々市町当局の多大なご支援とご協力とにより、当協会は着々とその歩を進めてまいりました。

野々市町文化協会
会長 飯森 又郎

発刊にあたって

野々市町文化協会 だより

第 4 号

発行人 野々市町文化協会
会長 飯森 又郎
事務所 野々市町中央公民館内
〒本町2丁目1-20
(0762) 48-0521
題字 松本佐一副会長

町あげでの「野々市じょんからまつり」、当町の町花木である「椿まつり」の行事に援助させていただきましたし、秋の文化祭にも文化協会のイヴェントとして町を飾ってまいりました。「文化」なんと快い響きを持った言葉でしょう。人間の造ったものを文化だといたしましても、その意味するものの中に「金銭」や「モノ」といった匂が少なく、人間の「行動」「力」といったイメージの強いところに私は強くひかれるのです。

学園町野々市に加え、文化の町野々市建設にこれからも力を入れて行きたいと思っております。

町民の皆様、これからも温かいご協力、ご支援を心からお願いたします。

椿まつり盛大に開催

ふれあいの輪ひろがる

町花木である椿を通して町民が交流する「花と緑のいち椿まつり」が三月二十三日(土)二十四日(日)の両日、文化会館ホールで開催され終日大勢の人でにぎわいました。

文化協会加盟十一団体が展示・発表・緑の市の各部会に分かれ何回も会合を重ねて開催にこぎつけたもので、今年で二回目。

町民から募った椿の切り花二百点のほか、絵画、書、生花、文学、盆栽等を展示。盆栽、椿苗、花苗、植木、特産物の即売も合わせて行われました。また、大ホールでは、民謡、野々市じょんから、音楽の発表会も行われ、春の文化祭として定着しつつあります。



野々市町文化協会

加盟団体だより

町を椿で

いっばいに

椿愛好会

今年には椿の当り年かと思われ
るほど、小さな木まで自分の庭
や近所の庭にも色とりどりの花
を咲かせて目を楽しませてくれ
ました。

特に四月四日、椿愛好会の春
の視察を桜が満開の京都へ宝鏡
寺(人形寺)、地藏寺(椿寺)、
金閣寺などで藤情正が朝鮮より
持ち帰った五色八重散り椿や銘
木を見て最後に臨済宗本山建仁
寺の塔頭堆雲軒で能登六水出身
の住職に寺内を案内してもらい、
庭の二百種余りの椿を前にユー
モアを交えた話しを聞き、庭一
面の花に見とれ、有意義な一日
を過ごしました。

京都で椿ばかりを求めていた
ためかもしれませんがどの露路
の隅にも椿が一杯の花をつけて
います。なんと椿の多いことか。
町花が椿の我が町が恥しい。な

んとか年中艶かな光を放つ葉と
きれいな花を咲かす椿を町の各
家に植えて名実ともに椿の町と
したいと念願しています。
これが椿愛好会全員の希望で
す。



文化施設の

拡充を

美術協会

当協会は、三十名の会員で発
足以来、来年は十五周年を迎え
ようとしています。

会員も、現在六十五名を数え、
町民憲章の「文化の香り高い町」
づくりを目指して、研修に努め
ています。

今後の展望としては、他市町



の美術館建設計画が報道されて
いる昨今、町当局と協調して文
化施設の拡充を推進していきま
いです。

発足14年目を

迎える

音楽文化協会

音楽文化協会も発足以来十四
年目を迎えました。
運々たる歩みではありませんが、
ここまでこられたのも町民の皆
様のご支援のお陰と感謝してお
ります。

昨年は、ムーンライト・ジャ
ズオーケストラのモンタレー・
ジャズフェスティバル(アメリ
カ・カリフォルニア州)出演と
いうビッグニュースもありまし
たが、今年も地道に活動したい
と思っております。
今後ともよろしくお願いま
す



今年で10周年

将棋協会

今年十周年を迎え、活動も年々
充実しております。

特に毎週木曜日には、A〜D
級に分かれての順位戦リーグを
行っており、日ごろの腕を競い
合っています。

入会希望者は、気軽に例会に
お越しください。年会費は、二
千円で、中学生以下は千円です。



緑豊かな

町づくり推進

盆栽愛好会

盆栽は伝統芸術といわれ、ま
た日本人の心優しい文化であり、
平和を求める心であると「名盆
栽家」は言われています。

盆栽愛好会でも会員各位が愛
樹を守り育て緑豊かな町となる
ことを念じ精進しています。

最近、文化協会主催の椿まつ
りが行われ、椿の盆栽に関心か
高まっています。

町民の皆様も当盆栽愛好会に
入会され、盆栽の妙味を体得さ
れてはどうでしょうか。



文化遺産を

後世に

野々市しんから節保存会

貴重な郷土の文化遺産である
「野々市しんから節」を大切
に受け継ぎ、さらに次の世代に
伝えることが野々市しんから
節保存会の重要な責務であり、
また広く町内外にPRすること
も大切な事業の一つです。八月
一日、二日のしんからまつり
に出演することは勿論、それ以
外に町内外の各種事業等からの
出演依頼があります。

新しく入会を希望される方は、
踊り、唄、三味線、笛、太鼓と
希望される部門を申し出くださ

い。
申し込み先 事務局 柳田
☎四八二二二二
始める人までいます。
暮は打ちながら覚えるもので
す。
お待ちしております。
お費は、年額千円です（中学
生以下は無料です）。



暮を打って
楽しみを
ふやしましょう

囲碁協会
暮が打てる人、今から始めた
い人、子供に覚えさせたいお母
さんは、毎週土曜日の晩と第一
と第三日曜日の午後に中央公民
館へお集まりください。
県内トップ級から、今日から



年4回の花展
華道協会
去る四月二十日、八流派の役
員、会員出席の中、定例総会を
開きまして平成三年度の事業計
画を次のとおり決めました。

- ◎7月 中 研修旅行
- ◎8月 じょんからま
1、2日 つり花展
- ◎11月上旬 文化祭花展
- ◎2/22、23日 第7回花展
- ◎2月上旬 研修講座
- ◎3月下旬 椿まつり花展

七本立て菊を
国体会場に

菊花協会
三十年の永きにわたって使っ
てきた「菊友の会」の名称を
「菊花協会」と改めました。
今後ともよろしく願いま
す。
なお、今年は当県で国体が開
催されます。わたしたちも、陰
ながら協力し、石川県特有の
「七本立て」菊を一鉢でも多く
会場に飾り、参加者みなさんの
目をいささかでも楽しませるこ
とができればと一同頑張ってお
ります。



民謡は日本人の
心のふるさと

民謡協会
民謡協会が発足して三年目を
迎えます。
この間、町民文化祭や椿まつ
りで芸能発表を行うなど、協会



として着実に進展を果たしてい
るところです。
民謡は日本人の心のふるさと
です。民謡に興味のある方は、
町内地区公民館で毎週活動を行っ
ておりますので、お気軽に練習
日にお越しください。



親しみの持てる
会に

読書会連絡協議会
昨年は変わった行事もと「文章
教室」と一般町民参加の「公開
読書会」を実施しました。
また、椿まつりには、東大寺



修二会に使われる「万葉椿」や
「椿と伝説」の展示を行いまし
た。
今年、合同読書会、文学散
歩、講演会を行う予定です。読
書人口も増えつつある昨今、各
地域で次々と新しい読書会が誕
生することを念じております。

軽快な
リズムに乗って

社交ダンス愛好会
今年度から文化協会に加盟し
ました社交ダンス愛好会です。
健康づくりにダンスは最適。
これからも会員の拡大に努めて
行きたいと思っています。
毎週火・水・金曜日、午後七
時三十分から中央公民館で活動
しておりますので、興味のある
方はぜひ一度お越しください。
あなたも、軽快なリズムに乗っ
てますます健康を増進してくだ
さい。



昨年は、羽咋市と鹿西町の文化協会が視察に訪れました(写真は鹿西町との懇談会) ↓

スナップ



文化振興賞に

荒木幸男氏

文化協会の表彰式が十一月三日の文化の日、文化会館フォールテで挙行され、野々市じよんか



↑12/14 文化協会懇親パーティー
加盟11団体が親睦を深めました。



↑H 2.6/12 小松市文化協会を視察

←6/29 内灘町文化協会を視察

視察研修

他市町村の協会の活動を学ぼうと協会では、毎年視察研修を実施。



ら節保存会の荒木幸男氏が表彰されました。

▽第3号文化振興賞

荒木幸男氏(藤平田二)

野々市じよんかから節保存会発足当時より会員として野々市じよ

んから節の復興に努力されるとともに、町内各地に眠る郷土芸能を調査し町内の行事で披露。また、じよんかから教室を開催するなど囃子方、囃り子の育成を図られた。



町章

文化協会のシンボルマーク
募集します



デザイン/石ノ森 幸三郎
主催/野々市町のマスコミ・マナビイ

文化協会では、協会のシンボルマークを募集しています。
文化都市「野々市」にふさわしい図案をお待ちしていますので、みなさん奮って応募ください。
応募資格 町民
応募方法 ハガキにて九月十日(火)までに中央公民館(本町二丁目一〇〇)へ
☆採用者には、賞状と記念品を贈呈します。

◎野々市町文化協会役員

【平成3年度】

- 会長 飯森 又郎
- 副会長 松本 佐一
- 理事長 無量井 三郎
- 常任理事 宮岸 洋二

(野々市じよんかから節保存会)

- (菊花協会) 山口 正昭
- (椿愛好会) 島崎 文雄
- (美術協会) 瀬尾 亮弥
- (華道協会) 二又 米造
- (盆栽愛好会) 館 惣吉
- (囲碁協会) 向田 初三郎
- (将棋協会) 魚住 雅一
- (読書会連絡協議会) 鮎谷 久太郎
- (民謡協会) 北村 倫子
- (音楽文化協会) 小林 孝次
- (音楽文化協会) 丸山 順孝
- (社交ダンス愛好会) 絹川 善作
- 監事 (音楽文化協会) 佃 栄太
- (美術協会) 野々市 利男

- (菊花協会) 高橋 外茂男
- (椿愛好会) 北 真雄
- (将棋協会) 大島 昇
- (盆栽愛好会) 小杉 久夫
- (囲碁協会) 源野 辰一
- (読書会連絡協議会) 亀井 政子
- (民謡協会) 黒保 竹吉
- (華道協会) 若島 節子
- (野々市じよんかから節保存会) 小川 信興
- (社交ダンス愛好会) 江村 寛通
- 幹事 宮田 久美子
- 山口 良